

「1つしかない自分の命を守りましょう」

開成町交通指導隊長 ^{むとう} 武藤 さかえ さん

学校に行く時、家を出た瞬間からたくさんの危険が待っています。歩く時も自転車に乗る時も、「止まる」「安全確認」「命を守る」ことが大切です。

「止まる」は、一時停止の標識が有る場所も無い場所も必ず止まってから行動しましょう。飛び出しをしてはいけません！

「安全確認」は、右・左の確認と、前と後ろから車やバイク、自転車が来ていないか確認しましょう。

一番大切なことは「自分の命を守ること」です。皆さんの命は1つしかありません。そして、自分の命は自分で守らなければいけません。自転車に乗る時はヘルメットを着用する、夜は反射材を身に着けたり、明るい服を着たりしてドライバーから見えるようにする等、簡単にできる対策はたくさんあります。

交通ルールを知る・守ることで交通安全につながり、命を守ることができます。自転車に乗る時もルールがあります。おうちの人と一緒に確認してみましょう。

自転車に乗るときのルールとマナー
(神奈川県警察ホームページ)



1月、開成幼稚園の園児を対象に交通安全教室を開催しました(酒田保育園は3月に開催予定)。交通指導隊は他にも、小学4年生を対象とした自転車運転免許講習や街頭指導等を行っています。また、自治会でも交通安全教室を開催しています。大人の方も交通ルールの再確認をして、交通安全の意識を高めましょう。



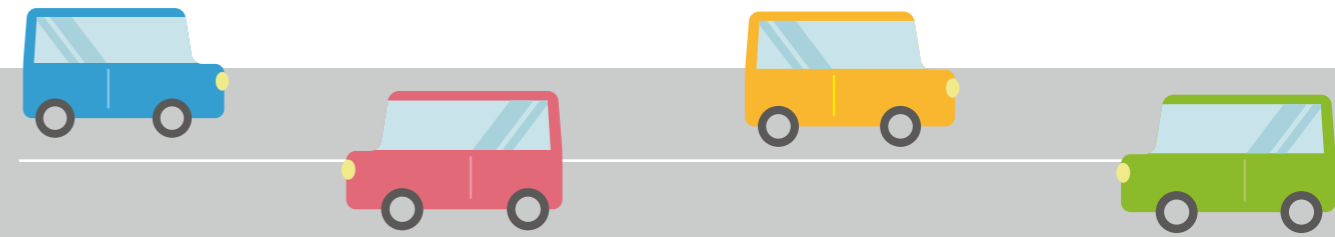
特集

交通ルールを守ろう！

問 防災安全課 ☎84-0326

皆さん、安全運転はできていますか？スマートフォンを操作しながら等のながら運転やながら歩行はしていませんか？

春は、新入生をはじめとした子どもの交通事故が増える季節です。一人ひとりが改めて交通ルールを確認し、交通事故ゼロをめざしましょう。



開成町と交通事故

開成町は、10年連続で交通死亡事故ゼロを記録していますが、残念ながら昨年1年間で46件の交通事故が発生しています。

町内の交通事故で多いのが「出会い頭の事故」や「追突事故」です。特に、道幅の狭い道路や見通しの悪い交差点では、より一層の安全確認が必要です。「歩行者や自転車は来ないだろう」「信号が青だから大丈夫だろう」と過信せず、「人や車が飛び出してくるかもしれない」等、「かもしれない運転」を心がけましょう。交通事故は、ときに尊い命を奪い、被害者も加害者もつらい思いをします。自分は安全に行動できているか今一度確認して、交通安全に務めましょう。



▲交通事故が多い地点のひとつが、役場の目の前にある「新延沢交差点」です。右折直進する対向車の確認や歩行者・自転車の通行に注意して走行しましょう。

広報かいせい裏表紙の安全データの項目には、毎月の交通事故件数を掲載しています

安全データ			
交通事故件数	6件(60)	死者	7人(70)
死亡件数	1件(1)	負傷者	85件(85)

やってみよう！

交通〇×クイズ

Q1
歩行者用信号が「青」の時は、安全を確かめて渡る。

こたえ

Q2
この標識があるところで自転車は止まる必要はない。

こたえ

Q3
自転車は車道の右、左どちら側を走ってもよい。

こたえ

A1 ○
歩行者用信号が青になったら、左右の安全を確認してから渡りましょう。

A2 ×
「止まれ」の標識では、自転車も止まらなければなりません。止まって安全を確認しましょう。

A3 ×
自転車で車道を走るときは、原則、道路の左側を走る必要があります。